

ともにわちあいすこやかなときを



油絵 『春を待つ』 鈴木康則様／提供

2025年度の市民フォーラムの案内は11ページ
親睦旅行の案内は12ページです!!

会報 63号

2025年(令和7年)3月



金沢会長あいさつ	表紙
佐野先生あいさつ	1
加藤先生あいさつ	3
健康コラム 松浦広昂先生	4
片方容子看護副部長	4
長崎理香看護師	4~5
活動報告	5
おたよりコーナー	12
俳画・写真・絵	16
ご寄付一覧・役員紹介・編集後記	18
加藤庸子国際基金のご案内	裏表紙

ごあいさつ



友の会の皆様を始め関係者の皆様、こ
んなちは。

日頃は友の会の発
展にたくさんの方の支
援を感謝致します。今年で友の会が
発足して44年もの歳月を迎えますが、大
学病院としては日本一の実績です。

発足時に於いて、指導的な役割を果た
された佐野公俊先生を始め、特に加藤庸
子先生が友の会の会員に対して、分け隔
てなく献身的に見守って下さる姿に感銘
を受け、会員皆様が先生の功績に賛辞を
表し心を打たれ、今年の年度末には、友
の会の会員数が大台の一千名が達成さ
れる見込みであります。会報誌にも掲載
されておりますが、5月18日(日)に、友
の会が主催する市民フォーラムが、名鉄グ
ランドホテルで開催されますので、現代医
学が進歩した講演内容を、多くの皆様方
に聞いて頂くため、奮って参加される事を
願っております。

最後に皆様の健康と、ご多幸を祈念し
ながら挨拶とさせていただきます。

令和七年三月 吉日

会長 金沢敬雄

おたよりの送付先：〒454-8509 名古屋市中川区尾頭橋3丁目6番10
藤田医科大学ばんだね病院脳神経外科医局内
Fujita 脳神経外科友の会事務局 宛

TEL : 0561-38-7220 FAX : 052-323-5800
Mail : neuron2@fujita-hu.ac.jp

<https://fujita-tomonokai.com/>

友の会
QRコード



2024年を振り返って

総合新川橋病院 脳神経外科顧問

佐野 公俊



友の会の皆様、2024年もあつという間に暮れようとしております。

10月の日帰り昼神温泉旅行も和食をいただきながら、藤田で脳外科が独立する前から勤務されていた看護師さんや新川橋病院に勤務されていたスタッフがアジアの看護師さんを育成し、自国に返すという会社を設立した方々も同席し、また留学生の紹介があったりと、加藤先生はじめ、友の会の役員さんたちがのご尽力で友の会会員とともに楽しいひと時を過ごせましたことに感謝いたします。

今年は、様々な取材が多かった一年でした。夏の「元気の時間」スーパードクターとして取り上げられ、12月の「アンビリバボー」でリアルドクターX、医師免許をもったホワイトジャックのネーミングの起こりも取り上げてくれました。FM横浜のインタビューやホワイトジャックの

Kindle版も出て、その関連のインタビューも受けました。

インドで毎年招待されて数十年のインド脳卒中外科学会が国内の研究会和となり、断つてきました。前年ドイツのサミー教授が受けた賞を私が受けるというので受賞記念講演をすることになり、急遽ジャイプールへ飛んで行き、その帰国後、脳神経外科学会総会から次々へと行事をこなして、休む間もなく、アンビリバボーの撮影やインタビューが長期間続き、その間、難しい症例にも時間を費やしてきました。年に一度のビデオセミナーでは、困難だった症例を持ち合い、熱いオベ好きな脳外科医が集い、白熱した討論するセミナーも無事開催されました。アンビリバボーの放映直後から、反響の大きさにひとりひとりの対応に追われ、まだまだ悩める患者さんがこんなにも多いことを改めて知らされた年末でした。血管障害以外の相談もかなりありますが2025年も皆様の相談に一つ一つ乗って差し上げられますよう、健康に気をつけて新しい年を迎えたいと思っておりますが突如、アレルギーを発症し、咳が残ったまま年末を過ごすことになりました。

現在、血管内治療の先生が増える中で、手術を学ぼうという脳外科医たちに手術技術が育ってくれることを願い、2025年も皆様様が心身健康でお目にかかれまことを楽しみにしております。



2024年12月25日 フジテレビ



2024年8月18日 TBS系全国ネット

Fortis

**Invitation For
Prof. S. R. Dharker Oration
&
NEUROVASCON 2024
27-29 SEPT. 2024**

**You are cordially invited for:
Prof. S. R. Dharker Oration**

Date: 27th September 2024
Time: 09:00 PM Onwards
Hotel Novotel Convention Centre, Jaipur



Prof. S. R. Dharker
Ex Principal and Controller
SMS Medical College and Attached Hospitals
Ex. Dean Faculty of Medicine
University of Jodhpur
Past President - NSI



Prof. Hirotoishi Sano
Orator
Emeritus Professor
Fujita Health University (Jichi)
Vice Director & Advisor of Neurosurgery
Shinkawabashi Hospital (Kawasaki)

CONGRESS SECRETARIAT
Dr. Himani Bhatnaga (Org. Chairman), Dr. Vivek Waid (Org. Secretary),
Dr. Samkalya Bhatnaga (Treasurer), Dr. Akshay Mangal,
Dept. of Neurosurgery, Fortis Escorts Hospital, Jaipur
Email: neurovascon24@novotel.com
www.neurovascon2024.com

インド
脳卒中外科学会
受賞・記念講演

NEUROVASCON 2024
24th Annual Conference of Cerebrovascular Society of India
Under Aegis of Cerebrovascular Society of India
&
Neuro-Welfare Society of Jaipur

**You are cordially invited to join for the
Prof. S. R. Dharker Oration**

Ex Director and Controller, SMS Medical College and Attached Hospitals
Ex Dean Faculty of Medicine, University of Jodhpur
Past President - NSI

**Orator
Prof. Hirotoishi Sano**
Emeritus Professor, Fujita Health University (Jichi)
Vice Director & Advisor of Neurosurgery
Shinkawabashi Hospital (Kawasaki)

Followed by Dinner

SEPTEMBER
FRIDAY 27 07:30 PM
2024

Venue:
Hotel Novotel Convention Centre, Jaipur

RSVP
NEUROVASCON 2024 Organizing Team



ご挨拶

友の会

2024を振り返って



Fujita 脳神経外科 友の会 顧問
藤田医科大学ばんだね病院
脳神経外科 教授・統括副院長
ストロークセンターセンター長

加藤 庸子

友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。

会は43年前豊明の藤田学園脳外科で皆様との出会いから始まりました。その後長きに渡り緩やかな繋がりをもち今日を迎えております。

心から喜びと感謝の気持ちで一杯です。

さて今日は「体に優しい治療とは」を一緒に考えてみます。

外科の治療はさらに体に優しい低侵襲（ていしんしゅう）の治療に舵がきられています。

体に優しい治療とは、患者様の病気にみあった、臓器への侵襲が少ない治療です。それは、手術時間が短く、入院期間

も短く、傷が小さく、術後の痛みも少ない、また傷が整容的にも美しく、そしてその結果として何より最大の治療効果を得ることが出来ます。そのような治療を指しています。

これこそ我々が今の医療に求めるところでしょうか。

ここに暖かい看護が寄り添っていただければ、さらに回復は加速します。

我々脳外科治療は少なくともこの新バクトルの方向で進み最新の治療が届けられるよう研鑽積んでおります。

4月からの新しい6名の仲間が加わり総勢10名の脳外科専門医と2名の診療看護師とともに患者様へ満足度の高い治療を目指します。

よろしくご指導お願い申し上げます。

皆様には健康第一で明日への目標や楽しみを持ちながらお過ごししていただきたいと思えます。



留学生送別会



第78回脳外科友の会旅行
屋神温泉 会場にて

健康コラム

フレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドローム

藤田医科大学医学部リハビリテーション医学講座
藤田医科大学ばんだね病院
リハビリテーション科 講師

松浦 広昂

1. フレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドロームとは

フレイルとは、脆弱を表す「frailty」に基づいた概念で、加齢によって「些細なストレスに対して、それに見合わないほど大きな健康状態の変化がもたらされる危険性がある状態」と捉えられる。診断には cardiovascular health study (CHS) 基準が用いられることが多く、体重減少、筋力低下、疲労感、歩行速度、身体活動の項目のうち3つ以上該当するとフレイルと診断される。サルコペニアは加齢により筋肉量が減った状態であり、ロコモティブシンドロームは運動器障害のために移動機能の低下をきたした状態である。この3つは互いに重なりのある概念である。

2. フレイルを予防、治療するには

運動、栄養、参加への介入がその予防、治療に重要である。運動についてはスクワットなどが推奨されているが、膝を痛めるリスクがあるので、無難に行うには椅子から立ち上がり座るのを繰り返すのが良い。その際、座る際にゆっくり座ることが効果的である。栄養はタンパク質の摂取が重要である。目安は1kgあたり1.0g以上のタンパク質が必要とされるが、腎機能障害があると摂取を控えた方がよい場合があり、医師に相談することが望ましい。社会参加については、無

理なく楽しめる活動であることが最も重要で、また地域社会や家族のサポートがあることで参加の継続性が高まる。

「がん患者の治療と就労の両立について」

藤田医科大学ばんだね病院 看護副部長
がん化学療法看護認定看護師

片方 容子

日本人の2人に1人は一生のうち何らかの「がん」になると言われています。がんは、細胞の遺伝子が傷つくことよって起こり、その傷ついた細胞が異常に増殖する病気です。どの部位にも発生する可能性があります。がんは、人に直接うつることはありません。がんの原因には、喫煙や飲酒、紫外線、加齢などがあり、予防として禁煙、節酒、食生活の見直し、運動などがあります。

がんの罹患率は、50代前半までは女性の方が多く、60代以降は男性に多くなる傾向があります。がんの中でも罹患数の多いものは、男性では前立腺がん、女性では乳がんです。死亡数で見ると、男性は肺がん、女性は大腸がんが最も多くなっています。

日本人の死亡原因の第一位は長い間、悪性新生物（がん）でしたが、1990年代後半から減少傾向にあります。がん治療の進歩によって、不治の病から治る病へと変化してきています。

また、がんの3大治療は「手術」、「化学療法」、「放射線治療」でしたが、新たに「免疫治療」が加わってきています。従来の抗がん剤は、がん細胞も正常な細胞もすべて攻撃してしまう治療でした。その後、「分子標的薬」というがん細胞の発生や増殖にかかわる特定の分子だけを攻撃する治療が現れるようになりました。新しく出てきた「免疫治療」は、自分の免疫の力を利用してがんを攻撃する治療法で、今後ますますがん治

療は目覚ましい発展を遂げていくと思われれます。

そして、がんを経験しながら生きている人たちのことを「がんサバイバー」と言い、家族、友人、ケアにあたる人々も、当人のサバイバーシップ体験から強い影響を受けるため、「がんサバイバー」に含まれます。今は芸能人も自身のがんを公表するようになり、がん治療の様子や闘病生活をネット上に配信しています。

さらに、がん患者さんの仕事と治療の両立支援が進んできています。がん治療の進歩によってがんが治るようになり、仕事を継続することも可能です。しかし、治療と仕事の両立は容易ではありません。私たち医療スタッフは、がんになっても自分らしく働き続けられるよう支援していきますので、いつでもご相談ください。

「認知症を知ろう」 「認知症予防」

藤田医科大学ばんだね病院
認知症看護認定看護師

長崎 理香

認知症は誰にでも起こる可能性がある脳の病気です。認知症はいろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったためにさまざまな障害が起こり、生活に支障をきたすようになった状態のことをいいます。認知症は急激に発症することはなく、だんだんと認知症の症状が現れてきます。症状が急激に現れたときは、認知症とは別の病気かもしれません。いつもと違うと感じたときはすぐにかかりつけ医に相談することをおすすめします。

認知症を予防するためには、活動的であること（1日30分程度の運動）、より良い食事を食べることで、健康的な体重を維持すること、喫煙しないこと、正常な血圧を維持すること、質の良い睡眠をとること（30分未満の昼寝は効果的）、コレスステロールのコントロール



ル、血糖値のコントロールが大切です。また、いろいろな人と会話をすることは、相手が何を話しているのか理解し、相手の話した内容にどのような返事をするのかといった作業が脳で行われるため、脳の機能にとっても効果的です。さらに、役割を持つことも認知症予防にとっても効果的です。例えば誰かの世話をする、洗濯をたたく、食器を食卓に並べる等小さなことでもいいので毎日役割を持つて生活をする事で生活にメリハリができて認知症予防に効果があります。

運動や社会参加、適切な食生活など様々な生活習慣が、認知機能の維持や認知機能の低下を緩やかにすることがつながります。

老化によるもの忘れと認知症の違い

	老化によるもの忘れ	認知症
原因	脳の自然な老化	脳の神経細胞の異常
もの忘れ	体験したことの 一部 を忘れる (ヒントがあれば思い出す)	体験したことを まるごと 忘れる (ヒントがあっても思い出せない)
症状の進行	あまり 進行しない	だんだん 進行する
判断力	低下 しない	低下 する
自覚	忘れた っぽい ことを自覚 している	忘れたことの 自覚がない
日常生活	支障は ない	支障を きたす

認知症を予防する食材

認知症予防には和食が良く、よく噛んで食べることがより良いです。認知症予防の食材を摂るには、「まごちたちはやさしい」と覚えておくと便利です。



例えれば誰かの世話をする、洗濯をたたく、食器を食卓に並べる等小さなことでもいいので毎日役割を持つて生活をする事で生活にメリハリができて認知症予防に効果があります。

活動報告

友の会ホームページWEB講演

2020年9月から友の会のホームページの「WEB会場」で先生方ご協力のもと、毎月Youtube（講演動画）を配信しています。講演内容は多義にわたり会員の皆様の健康維持に役立つ内容ですので是非ご視聴下さい。

各公演日から3ヶ月間は、Youtube視聴が可能です。

尚、2025年2月2日をもって毎月のWEB講演は一旦中断致します。今後は、非定期になりますが皆さまに是非とも紹介したい講演がある時に配信する予定です。

又、今迄の90講演について再度視聴の要望がある時には、以下まで連絡頂ければ1ヶ月間視聴できます。

再視聴
要望

Fujita脳神経外科友の会事務局

電話 0561-38-7220 FAX 052-323-5800 Mail neuron2@fujita-hu.ac.jp

視聴方法

友の会ホームページ「WEB会場」に掲載されている Youtube（講演動画）を再生ください。

■ ホームページアドレス / <https://fujita-tomonokai.com/>



←HPは、こちらのQRコードを読み込んでいただくだけで簡単にアクセスできます

2024年度後半 ホームページWeb講演一覧

講演日	講演タイトル	所属	氏名
2024年 7月 7日	ロボット手術を含めた肝臓外科医療	藤田医科大学 医学部 消化器外科学 教授	加藤悠太郎
2024年 8月 4日	腎臓とくすり	藤田医科大学 医学部 内科学 助教授	立本 良崇
2024年 9月 1日	知って得する～高齢者の肺炎～	藤田医科大学 医学部 内科学 教授	廣瀬 正裕
2024年10月 6日	皮膚科で行うレーザー治療	藤田医科大学ばんだね病院 皮膚科 准教授	秋田 浩孝
2024年11月 3日	胃癌の治療	藤田医科大学ばんだね病院 外科 助教授	多代 尚広
2024年12月 1日	治る可能性がある認知症	藤田医科大学 脳神経外科 助教授	長谷部朗子
2025年 1月12日	高齢者の脆弱性骨折	藤田医科大学ばんだね病院 整形外科 助教授	平野 耀
2025年 2月 2日	睡眠時無呼吸症候群	藤田医科大学ばんだね病院 耳鼻咽喉科・睡眠呼吸学 助教授	倉田 耀介

●ホームページWeb講演一覧(2020年9月～2025年2月)

講演日	講演タイトル	視聴数	所属	氏名
2020年 09.06	お寺の徒然なお話～あの世とこの世	577	高德院 住職	湯川 博英
10.04	日本の脳ドックシステムと未破裂脳動脈瘤	834	島根県立中央病院	井川 房夫
11.01	認知症の予防と備えのコツ	25	藤田医科大	武地 一
12.06	脳ドックでみつけられる認知症の前兆：特発性正常圧水頭症を中心に	3,347	流山中央病院	高木 清
2021年 01.17	心房細動と脳梗塞の関連について	150	藤田医科大(ばんたね)	渡邊 英一
02.07	今からでも間に合う！脳卒中と認知症の生活習慣	82	小林病院	小林 祥泰
03.07	手術で防ぐ脳卒中	83	富山大学	堀 恵美子
03.21	性差医学、女性外来の紹介	797	静岡荘病院	天野 恵子
04.03	脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血は防げるか？ - 破れやすい脳動脈瘤の予知 -	3,870	藤田医科大(ばんたね)	加藤 庸子
05.09	コロナ禍における運動療法・リハビリテーション	24	日本医科大学	青柳陽一郎
05.23	いたわりましょう腎臓を！	68	藤田医科大(ばんたね)	稲熊 大城
05.30	コロナ時代の COPD 治療	45	藤田医科大	堀口 高彦
05.30	脳神経外科における神経内視鏡手術	43	藤田医科大(ばんたね)	小松 文成
05.30	知らないときケン！絶対に知っておきたい食物アレルギー	41	藤田医科大(ばんたね)	矢上 晶子
05.30	新型コロナウイルス感染症の予防とワクチン	51	藤田医科大	土井 洋平
05.30	不整脈とペースメーカー、AED	33	藤田医科大(ばんたね)	渡邊 英一
05.30	CKD(慢性腎臓病)～腎臓を守って長生きしよう～	36	藤田医科大	坪井 直毅
05.30	新型コロナウイルス感染症対策について～新しい日常生活に向けて～	30	藤田医科大(岡崎)	小島菜保子
06.06	低栄養を予防し健康寿命を伸ばそう！	88	藤田医科大	堀内 薫
06.20	FNPの紹介	4,713	藤田医科大	廣末 美幸
07.04	本当に怖い動脈硬化のお話～虚血性心疾患、末梢動脈疾患 編～	160	藤田医科大	良永 真隆
08.01	病院を知ろう ～総合診療医とは 救急医とは 集中治療医とは	26	藤田医科大(ばんたね)	徳山 秀樹
08.22	長寿のための口腔衛生の重要性	58	中川区歯科医師会	近藤 康史
09.05	コロナかでの心のもちよう	26	藤田医科大	内藤 宏
09.19	耳寄なお話～めまいと聴こえ～	48	藤田医科大	鈴木 賢二
10.03	脳卒中について、皆様には是非知っておいていただきたいこと	87	藤田医科大	松本 省二
11.07	「漢方」って本当はどんなもの？「漢方」で何が治るの？	66	みやざわクリニック	宮澤 裕治
11.28	若々しく生きるために	347	藤田医科大	佐野 公俊
11.28	角膜移植術進化論	258	藤田医科大(ばんたね)	平野 耕治
11.28	甘い言葉にご用心～糖尿病で体をサビつかせないために～	54	藤田医科大	鈴木 敦詞
11.28	加齢と共に忍び寄る前立腺の病気	36	藤田医科大	深谷 孝介
11.28	腰の曲がる病気とは	76	藤田医科大(ばんたね)	加藤 慎一
11.28	大腸の病気による腹痛	71	藤田医科大(ばんたね)	荒川 敏
11.28	薬について	73	藤田医科大(ばんたね)	山田 敏也
11.28	クリティカルケアについて	135	藤田医科大(ばんたね)	相原 晶子
12.05	自宅で行うリハビリテーション	56	藤田医科大(ばんたね)	加賀谷 斉
2022年 01.09	呼吸器外科医の役割～肺癌、縦隔腫瘍を中心に～	1,911	藤田医科大(ばんたね)	柄井 大輔
01.23	With コロナにも After コロナにも通用する感染対策	80	藤田医科大(ばんたね)	木下 輝美
02.06	高齢化と肺炎患	136	藤田医科大(ばんたね)	廣瀬 正裕
02.20	カテーテルで治す脳卒中	124	富山赤十字病院	桑山 直也
03.06	知って欲しい！不整脈と脳梗塞の深い関係	232	西湘病院	竹内 昌孝
03.20	脳卒中に対する脳血管内治療「切らない手術」のおはなし	508	佐野記念病院	鷗山 淳
04.03	新しい脳神経外科治療神経内視鏡治療		名古屋第二赤十字病院	永谷 哲也
05.01	すい臓の病気	692	藤田医科大(ばんたね)	堀口 明彦
05.01	ロコモと変形性股関節症について	1,856	藤田医科大(ばんたね)	金治 有彦

講演日	講演タイトル	視聴数	所属	氏名
2022年 05.01	婦人科がんにおける低侵襲手術(MIS:minimal invasive surgery)	529	藤田医科大(ばんたね)	内海 史
05.01	8人に1人が腎臓病って本当ですか？	117	藤田医科大(ばんたね)	稲熊 大城
05.01	コロナ禍を経験して考えたい、災害対策	145	藤田医科大	岩田 充永
05.01	パーキンソン病の話	1,143	藤田医科大(ばんたね)	伊藤 瑞規
05.01	“脳卒中循環器病対策基本法”に基づいた取り組みについて	181	藤田医科大(ばんたね)	藤原 稚也
05.01	With コロナにも After コロナにも通用する感染対策	361	藤田医科大(ばんたね)	木下 輝美
05.01	人生会議(ACP)を始めませんか	100	藤田医科大(ばんたね)	相原 晶子
05.01	コロナについて分かったこととこれから	171	藤田医科大	上原 由紀
05.01	BLS(Basic Life Support)一次救命処置		藤田医科大(ばんたね)	徳山 秀樹
05.01	生きがい	793	新川橋病院	佐野 公俊
05.08	赤ちゃんの頭のかたち	262	あいち小児保健医療センター	加藤美穂子
05.29	栄養管理(栄養療法)の重要性	68	日比野病院	三原 千恵
06.12	首や腰から来る痛みのお話	174	名古屋大学	西村 由介
07.03	遷延性意識障害について	2,887	中部脳リハビリテーション病院	篠田 淳
08.07	脳梗塞のサインを見逃すな	257	藤田医科大(ばんたね)	伊藤 瑞規
09.04	更年期からもあなたらしく	194	藤田医科大(ばんたね)	小川 千紗
10.02	夜間頻尿の最新治療	148	藤田医科大	佐々木ひと美
11.06	あなたの足を守って快適に過ごしましょう！	97	藤田医科大(ばんたね)	近藤 ゆか
12.04	パーキンソン病ってどんな病気？	5,409	藤田医科大(ばんたね)	千田麻友美
2023年 01.15	乳がんの診断と治療	387	藤田医科大	喜島 祐子
02.05	肺癌治療の最前線	188	藤田医科大(ばんたね)	加藤 宏之
03.05	婦人科がんにおける低侵襲手術(MIS:minimal invasive surgery)	156	藤田医科大(ばんたね)	内海 史
04.09	知っておくためになる日常生活に潜むアレルギー	129	藤田医科大(ばんたね)	矢上 晶子
05.07	災害が起きた時にはもう遅い！今からできる自らの命を守るための行動を身に着けましょう	61	藤田医科大(ばんたね)	中村 仁哉
06.04	肺がんの早期発見をめざして	10,430	藤田医科大(ばんたね)	橋本 千樹
07.02	リハビリテーション医療へのロボット活用	117	藤田医科大	大高 洋平
08.06	消化器外科ロボット手術の最前線	86	藤田医科大(ばんたね)	須田 康一
09.03	ふるえ・こわばりを治す脳神経外科治療	774	東京女子医科大学	堀澤 士郎
10.01	変形性股関節症に対する人工股関節置換術の最前線	2,958	藤田医科大	金治 有彦
11.05	病理診断とは	224	藤田医科大(ばんたね)	浦野 誠
12.03	どうする？こどものアレルギー～子どもたちをアレルギーからまもる最新情報～	56	藤田医科大(ばんたね)	近藤 康人
2024年 01.07	きこえを大切に	58	藤田医科大	岡野 高之
02.04	脳震盪で注意すること	175	藤田医科大(ばんたね)	金子 唯
03.03	日本の移植事情	115	藤田医科大	剣持 敬
04.07	腎臓が悪いといわれたら	105	藤田医科大	長谷川みどり
05.02	こわい？こわくない？下肢静脈瘤と深部静脈血栓症(エコノミー症候群)	27,035	藤田医科大(ばんたね)	近藤 ゆか
06.02	気管支喘息と吸入療法	74	藤田医科大(ばんたね)	鬼頭 雄亮
07.07	ロボット手術を含めた肝臓外科医療	84	藤田医科大	加藤悠太郎
08.04	腎臓とくすり	42	藤田医科大	立奈 良崇
09.01	知って得する～高齢者の肺炎～	131	藤田医科大	廣瀬 正裕
10.06	皮膚科で行うレーザー治療	84	藤田医科大(ばんたね)	秋田 浩孝
11.03	胃癌の治療	36	藤田医科大(ばんたね)	多代 尚広
12.01	治る可能性がある認知症	39	藤田医科大	長谷部朗子
2025年 01.12	高齢者の脆弱性骨折		藤田医科大(ばんたね)	平野 耀
02.02	睡眠時無呼吸症候群		藤田医科大(ばんたね)	倉田 耀介

第78回友の会親睦旅行(昼神温泉)

10月27日天候にも恵まれた中、車椅子・杖の方も参加頂き104名でバス3台にて第78回友の会日帰り親睦旅行を開催しました。

行きのバス内ではカラオケ大会で盛り上がり、ホテル阿智川の懐石料理をとりながら勉強会では、松浦先生『フレイル講演』・ばたね病院看護部の皆さん『フレイル体操』・片方看護副部長『癌患者の治療と就労』・長崎看護部『認知症講演』のお話で参加の皆さんから多くの質問もあり有意義な時間でした。

又勉強会の抄訳を紙面での多くの人から要望がありましたので健康コラムを掲載させていただきました。



バス1号車の皆さん



バス2号車の皆さん



バス3号車の皆さん



食事会



佐野先生挨拶



加藤先生挨拶



永井副会長挨拶



眞野看護部長・三鬼看護部長挨拶



留学生紹介と佐野先生・加藤先生・三鬼看護部長

Fujita 脳神経外科友の会 第78回親睦旅行ご案内

日程：2024年10月27日(日) 日帰りバス旅行
行先：湯元ホテル阿智川(昼神温泉)
長野県下伊那郡阿智村智里503-115
TEL：0265-43-2800

イメージ

杖・車イスの方も是非ご参加下さい。
 脳神経外科の先生・看護師さんも参加されます。
多数の御参加をお待ちしております。
(勉強会)

- ・松浦広昂先生『フレイルの講演』
- ・片方容子看護副部長『がん患者の治療と就労』
- ・長崎理香認定看護師『認知症の講演』
- ・ばたね病院看護部『フレイル予防体操』

りんごお土産付

8月30日(金) 申込締切
先着順(募集定員) 80名
(うち車椅子の方4名まで)

バス発着予定：JR名古屋駅
 集合時間予定：8時 帰着予定：18時
 参加費予定：10000円/人
 参加費は**参加決定(9月中旬)案内後**
 送付する振込み票で支払い下さい

(※注) 9月中旬までに参加頂く
 (先着80名)の代表者の方に
旅行のしおりと参加費の振込み票を
郵送させて頂きますので参加費は
その後、振込ください。

申込書提出時の参加費は受け付けません。
 参加決定後の取消は代金の返金は出来ません。
 友の会へ寄付金扱いとさせていただきます。

<申込み・お問合せ先>
 〒454-8509 名古屋市中川区尾頭橋3-6-10 藤田医科大学ばたね病院
 脳神経外科医局内 Fujita脳神経外科友の会事務局
 FAX：052-823-5800 TEL：0561-38-7220 Mail：neuron2@fujita-hu.ac.jp



バス乗車・看護部の皆さん



バス内カラオケ大会



加藤先生に花束贈呈



竹田奈菜様の演奏



三鬼看護部長講話



ばんたね看護部の皆さんのフレイル体操



片方看護副部長の癌の講演



松浦先生のフレイル講演



講演の松浦先生・長崎看護師・片方看護副部長にお礼



勉強会風景



勉強会風景



勉強会風景



恵那峡SAで加藤先生と



恵那峡SAで佐野先生と留学生



恵那峡SAで眞野看護部長と玉利様・北様と



恵那峡SAで加藤先生と看護部の皆さんと



先生とスタッフの皆さんと

第50回ばんたね病院演奏会(2024.10.12)



加藤訓音様と加藤先生他



演奏会風景



演奏会風景



お礼贈呈



スタッフの皆さんと

クリスマスコンサート(2024.12.21)



堀口病院長のご挨拶



加藤先生のご挨拶



演奏会風景



演奏会風景



演奏会風景



演奏者と堀口病院長・加藤先生

役員会

2020年の新型コロナ対応で毎月開催してきたZOOMのリモート役員会は2024年9月をもって一旦終了しました。

ZOOM役員会では、限られた参加者・細部の話合いが難しい等の課題もあり今後は必要時に対面での役員会を開催していく事にしました。



年央役員会

2024.07.06

友の会顧問の佐野先生・加藤先生、眞野統括看護部長と看護部の皆さん、小林事務部長と事務部の皆さん等との顔繋ぎと10月に開催する第78回昼神旅行の協力依頼などを主に開催しました。

(2列目左から)
永井様、神谷様、加藤先生、金沢会長、
佐野先生、眞野看護部長、
相原看護研修センター長



昼神旅行前役員会

2024.09.28

加藤先生にも参加頂き、10月に開催の昼神旅行詳細・次年度行事概要等について開催しました。

友の会役員(前列左から)
加藤先生、山崎様、金沢会長



年末役員会

2024.11.09

友の会顧問の佐野先生と加藤先生にも参加頂き、2024年の振り返りと次年度行事について開催しました。

友の会役員(前列左から)
加藤雅美様、加藤先生、金沢会長、
加藤医院院長、佐野先生、
黒川様、河野様 (HP)

第20回市民フォーラム案内



Fujita
脳神経外科友の会

第20回市民フォーラムプログラム

- ◆日程：2025年 5月18日(日)
- ◆時間：受付時間：13:30～ 無料医療相談：13:30～14:00
第20回 市民フォーラム：14:00～16:00
- ◆場所：名鉄グランドホテル 11階 柏の間
〒450-0002 名古屋市 中村区 名駅1-2-4
TEL: 052-582-2211
- ◆参加費：無料（どなたでも参加頂けます）、申込不要
- ◆主催：Fujita脳神経外科友の会



- ◆会長 金沢敬雄 / 顧問 加藤庸子(ばんだね病院 脳神経外科 教授、統括副院長)

司会：●加藤庸子先生(藤田医科大学ばんだね病院 脳神経外科 教授)
●Fujita脳神経外科友の会 副会長

無料医療相談：13:30～14:00
加藤庸子先生・看護師の医療相談

アトラクション：13:45～14:00
中村真帆(ヴァイオリン)・加藤志麻(チェロ)のデュオ



第20回 市民フォーラム：14:00～16:00

開会の挨拶：金沢敬雄(Fujita脳神経外科友の会 会長) 14:00～14:05
加藤庸子(Fujita脳神経外科友の会 顧問) 14:05～14:10

<特別講演>

講演1 「生体肝移植を受けて」

時間：14:10～14:30
講演者：高木亜紗恵
(共同通信社名古屋支社編集部)



講演2 「認知症診療の最近の話題」

時間：14:35～14:55
講演者：伊藤瑞規 先生
(藤田医科大学ばんだね病院 脳神経内科 教授)



休憩：14:55～15:05

講演3 「人生会議～ありのままの自分で生きる～」

時間：15:10～15:25
講演者：真野恵子
(藤田医科大学病院 副院長・統括看護部長)



講演4 「口を元気にする活動～口活に取り組もう～」

時間：15:30～15:45
講演者：三鬼達人
(藤田医科大学ばんだね病院 看護部長)



全体質疑&自由討議 等：15:45～15:55

閉会の挨拶：脳神経外科友の会 副会長 15:55～16:00

第79回鳥羽旅行案内

申込み受付開始は
2025年6月1日からの予定



Fujita 脳神経外科友の会 第79回親睦旅行ご案内

日程：2025年10月26日（日） 日帰りバス旅行

行先：鳥羽シーサイドホテル

三重県鳥羽市安楽島町1084

TEL：0599-25-5151

杖・車イスの方も是非ご参加下さい。
脳神経外科の先生・看護師さんも参加されます。
多数の御参加をお待ちしております。
(食事会&勉強会 11時～14時)



8月29日（金）申込締切

先着順(募集定員) 90名

(うち車椅子の方4名まで)

バス発着予定：JR名古屋駅(広小路口)

集合時間予定:8時 帰着予定:18時

参加費予定:13000円/人

参加費は参加決定(9月中旬)案内後

送付する振込み票で支払い下さい

申込時の参加費は、受け付けません

(※注) 9月中旬までに参加頂く
(先着90名)の代表者の方に
旅行のしおりと参加費の振込み票を
郵送させていただきますので参加費は
その後、振込ください。

申込書提出時の参加費は受け付けません。
参加費支払後の取消は代金の返金は出来ません。
友の会へ寄付金扱いとさせていただきます。

<申込み・お問合せ先>

〒454-8509 名古屋市中川区尾頭橋3-6-10 藤田医科大学ばたね病院

脳神経外科医局内 Fujita脳神経外科友の会事務局

FAX：052-323-5800 TEL：0561-38-7220 Mail：neuron2@fujita-hu.ac.jp

おたよりコーナー



昼神温泉旅行感想文

出山 恭子

普段の外出にはつい車椅子を頼りがちなのですが、加藤先生の前ではいい格好を見せたい母なので杖だけで頑張りました。

今回のような旅行はとても良い刺激になっていたようです。

翌日の今日は疲れが出てデイサービスを休むかもしれないと私の勝手な予想を外し、いつも通りの時間に起きてきました。

佐野先生がおっしゃった「できていることが続けられることが大切」

加藤先生がおっしゃった「こうして出かけてこられて、みんなと一緒に食事ができるのは素晴らしいこと」

思いがけずなんだか心に残りました。

美味しい食事をいただきながらこんなお話しが聞けてありがたいことです。

役員のみなさまにはいつも頭がさがります。

また来年、元気に参加できるようそれを励みに過ごしたいと思います。



第78回Fujita脳神経外科友の会 研修旅行に参加して

藤田医科大学病院 副院長 統括看護部長
眞野 恵子

友の会の皆さんお元気ですか?10月27日の昼神研修会で友の会の皆さんとは2年ぶりの再会となりました。当初の天気予報では雨も心配されるような天候でしたが、皆さんの熱い思いが好天を招いてくださいました。3台のバスを連ね、私は3号車に同乗させていただき道中、全員から病気のこと、友の会に入会した動機などの自己紹介、役員の方のご尽力のお陰でとても和やかに車中を過ごすことができました。湯元ホテル阿智川はコロナ前の宿泊研修で来館したことがあるホテルでした。お食事をいただいた後の研修では、途中一瞬意識を失うこともありましたが、講師の皆さん方の歯切れよいテンポと興味ある内容で自身の健康について再確認する機会となりました。

今回の研修でわかったことは、多くの方がばんたね病院の患者さんで豊明市にある本院、藤田医科大学病院のことを知らない会員の方がみえるということでした。

この会報を通じ改めて皆さんに藤田医科大学病院を知っていただきたいと思います。国内で一番多くのベッドを有し(1376床)25室ある手術室では最先端のロボット6台が稼働し、患者さんの負担を最小限にした先進治療を目指す大学病院です。本院に受診することがあればご一報ください。最後になりましたが、多人数の参加者を募り、研修を計画していただきました役員の皆さんに感謝申し上げます。そして、来年もまた、皆さんにお会いできることを楽しみにしています。



2024年10月27日 脳神経外科友の会昼神温泉旅行感想文

ばんたね病院 看護部 看護科長
山崎 富善

この度、2024年10月27日(日)に、脳神経外科友の会昼神温泉旅行に参加させていただきました。友の会の旅行は今回で2回目となりました。

今回は、100人を超える参加者となり、バス3台での旅行になりましたが、バスの中では、自己紹介から始まり、カラオケ大会が開催されました。友の会の皆様の歌唱力には、驚きました。青春を謳歌していた当時の歌を、みんなと一緒に楽しく、元気に歌っている姿をみていると、我々もエネルギーをもらい、元気になりました。初めて会う参加者同士が、カラオケ大会を通して、仲良くなる姿もあり、チーム「ザ・友の会」の一体感を感じました。

湯元ホテル阿智川では、友の会の皆様との交流や特別講演、体操そして、おいしい食事と楽しい時間を過ごすことができました。友の会の皆様と病院以外で話すことで、病院では聞けなかった、自宅での楽しいこと、苦労していることなど聞くことができ、私にとっても貴重な時間となりました。

次回も是非参加させていただきたいと思います。

そして、大人数にも関わらず、素晴らしい企画を立てて頂きました友の会の役員の皆様に心より感謝申し上げます。次回も楽しみにしております。ありがとうございました。



昼神日帰り旅行

友の会副会長 檜岡 純子

コロナ5種以降、2024年10月27日に三回目の日帰り旅行を開催いたしました。

天気予報は雨…総勢100名、バス3台でしたので、せめて朝の受付だけは雨が降りませんようにと天にお願いしました。先生のパワー?晴れ男晴れ女の集合体?受付どころか帰りまでお天気はもってくれました。感謝

往復のバスの中ではカラオケ大会で盛り上がり幸せホルモンUP、豪華な食事で幸せホルモンUP、フレイル予防体操で筋力UP、生活習慣改善で認知症抑制効果UP、癌治療の知識をアップデート等々脳細胞が活発に動いた一日でした。参加者の方達も熱心に聴きメモをとったり質問したりと充実した講演会でした。講演いただきました先生、看護師さん達に感謝申し上げます。感謝

帰りのバスの中、「次回も来てくれるかな?」、皆が大声で「いいとも!」最高!感謝

次回もたくさんのご参加をお待ちしております。



第50回ばんたね病院演奏会に寄せて

丸山 文子

10月12日、加藤訓音様の三味線演奏会を開催しました。ばんたね病院受付前のフロアには、多くの皆様が集まり、入院患者様も参加されました。

素晴らしい声と歌、三味線の音色が響き、参加者様の心に伝わりました。

涙する人、声を出して楽しんだ人、元気を頂いた演奏会になりました。

歴史ある友の会です。これからも、旅行や市民フォーラム。会報誌では、皆様のお声を発信していきます。

今回の演奏会で元気に、笑顔になった皆様と共に。

ばんたね演奏会について

中川 早苗

ばんたねロビーコンサートは、コロナ以後初めてで、本当に久しぶりの演奏会でした。

三味線の生演奏を近くで、見たり楽器を近くに見たりするのは初めてで、とても刺激になりました。又、加藤訓音さんの歌声や三味線は、力強く、トークも、楽しくて、私は、勿論、見に来て頂いた沢山の患者さん達も、笑顔になり、喜んでました。

病気の人達を、和ましたり励みになったりした事だと思います。

これからも、病気の人達を、元気になる、コンサートをして頂けたら、嬉しいと思います。

深井 泰子

ペンペンペン、心地よい三味線の音色がばんたね病院に響き渡りました。

いつもの受付の風景からがらりとコンサート会場に変わり、入院患者様でいっぱいになりました。

今回楽しいひとときを届けてくださったのは津軽三味線奏者の加藤訓音さんです。演目は、津軽じょんがら節曲弾、花～すべての人の心に花を～、ソーラン節等を次々に奏で、あっという間に患者さんやスタッフの心を掴みました。誰もが知ってるソーラン節や、牧村和子さんの「帰ってこいよ」の時は一緒に歌ったり手拍子をしたり盛り上がりました。加藤さんはトークも楽しく、お客様とコミュニケーションをとりながら演奏をするので自然とそこにいる人達が笑顔になっていきました。

入院生活中にこういった楽しみがあるのは心身ともに元気を与えてくれるので、素晴らしい試みだったと思います。楽しいひとときを、ありがとうございました。

おたより



田中 実

脳神経外科友の会会員の皆さまお元気でお過ごしですか?私は庸子先生にお世話になってもう15年以上になります。脳動脈瘤が2箇所発見されて、2度にわたる手術を受けて元気になり、友の会の役員として恩返しをしたいと考えましたが、若い頃の不摂生が原因で肺気腫、間質性肺炎、憩室炎、良性発作性頭位めまい症など発症し、毎年ばんたね病院に入院して、庸子先生はじめ数々の先生にお世話になっています。恩返しどころではなくなっています。

この頃は来年はどんな病気で入院するのかな?なんて開き直っています。健康にならないとダメですね～

こんな私でも、日々仕事で多忙を極めていますが、唯一と言って良い趣味があります。

それは一人ツーリングです。若い頃に免許を取って以来乗り続けていまして、気候の良い春と秋のライディングを生き甲斐とし、病と闘うことにしています。皆さまも素敵な生き甲斐のために、病気と闘っていきませんか?



学者ガルブレイスが50年前「豊かな社会」と「不確実な時代」を提唱し、プランニングはより予測困難な事態を迎えた。更にVUCA(ブーカ)の時代に移り、PDCAサイクル～OODAループへより迅速が求められる。組織人としては「激変する社会に対応する俊敏性と適応力を磨き、仕事・人生を輝かそう」と自ら鼓舞し努力を続けていても、突然に病に侵されたら、輝かせられるのか…と不安になる。泥臭い言い方になりますが、基本は「自らの健康への気遣い」と「相談」がポイントになる。

医師の「医療現場での視点や立ち位置が、患者に安心や元気を持たせ、ゆとりと希望」を患者に与えているのでしょうか。私は人生には何かのビジョンがあり、すべからずミッションも有ると感じている。私は脳神経外科友の会の皆さんと伴に行う、仏がいう「牛の歩み」の行動が、小さなエフェクトとして明確な共有バリューを産む。小さくても羽搏く事が大切と思っている。前進する力強い一歩に価値があると。

まだ、自分の体が制御できる間は、元気に牛のように、会の皆さんと伴に歩みたい。

Du courage!

友の会に参加して

友の会副会長 永井 太

友の会会員の皆様、当会をサポートして頂く病院関係者の皆様、いつも大変お世話になっております。

私自身、友の会の経験はまだ浅く、何かと勉強の途中ですが、主に旅行、市民フォーラム等行事を中心に参加しています。よろしくお願いたします。

さて、2019年末からの「コロナ」感染拡大により、人流の変化と共に、会の活動も大きく変化をしましたがその終息と共に、友の会でも一昨年から3回の日帰り旅行、2度の市民フォーラムを開催することができました。

折角再開した行事ですから、従来に加えプラス1を念頭に、旅行ではバリアフリー旅館との折衝、リフトバスの組み込みによる車椅子使用者や杖使用の方が気軽に参加できる体制づくり、市民フォーラムでは名古屋駅においても、集合のしやすい会場の確保等に心掛け設置を行なってきました。

どの行事もお陰様で多数の方にご参加を頂くことができ、「ホッ」と安堵している昨今ですが、コロナ前に比較し、市民フォーラムでは、参加者数は伸び悩み傾向であります。

そこで、一般の方にも広く周知することを目的に、ばんたね病院のある中川区八熊学区内の町内回覧板での案内(約370組)、周辺の薬局様(6店舗)への依頼等を行なっていますが、少しく頭を悩ますところとなっております。

会員の皆様に置かれては、行事についてご意見をお持ちの方が数多くお見えになろうかと思っております。

参加された方にはアンケートをお配りしていますが、お顔を合わせられない方にはホームページで活動状況をお知らせしています。是非とも忌憚りの無いご意見をお聞かせ頂ければ助かります。

なお、ホームページはインターネット検索サイトで「脳神経外科友の会」と打ち込むと当会が常に最上段に出ますので、簡単にアクセスいただくことができると思います。少し苦手と思われている方も一度検索して頂けると幸いです。

最後に、このホームページは当会の活動や交流報告の場として、会員様はもとより、一般の皆様にも広く周知するツールとしていきたいと思ひ、手を加えていきたいと考えています。ご興味のある方がお見えでしたら、お力添えください。

引き続き、会員様、関係の皆様には、お願いごとばかりになろうかと思ひますが、ご指導賜りますよう、よろしくお願い致します。

伊藤 英幸

Fujita脳神経外科教授の加藤庸子ドクターと初めてお会いしたのが、2022年12月後半、現場仕事中に集中力が無くなり、言語障害等が発生していると、同行していた仕事メンバーから様子が変わると指摘を受けて家近くで、夜の時間帯まで診療受付をして頂ける、加藤教授の弟さんが医院長をされている、加藤医院にてCT撮影をして頂きその場で脳梗塞と診断して頂きpm20:00を過ぎておりましたが、加藤医院長よりFujita脳神経外科の庸子ドクターに連絡を入れて頂き今からでも受診可能と言われましたが、後日改めて加藤庸子教授に受診して頂き翌日よりFujita脳神経外科に入院させて頂き、精密検査&治療が始まり手術をうけました。

手術後pm21時過ぎですが、庸子ドクターが、ICUの私の所まで来て頂き頑張ったねと声を掛けて頂き、とても心強く安心出来ました。

入院中は、庸子ドクターが毎朝、不安な私に親切に声をかけて頂き要望や困り事などを聞いて頂き、コロナ禍でしたが、入院生活をストレスフリーで過ごす事ができました。

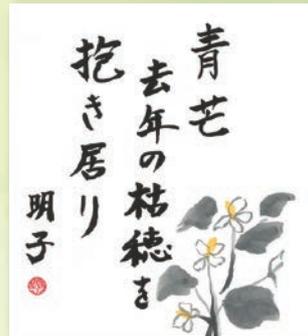
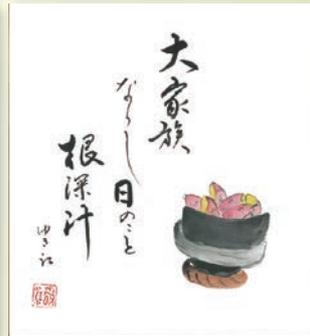
庸子ドクターをはじめ看護師の皆様のおかげで、入院生活、手術を終えて、現在は、発症前近くまでの生活が送れる様になりました。とても感謝しております。その後の2023年の11月よりFujita脳神経外科友の会の役員を任命いたしました。

俳画 コーナー

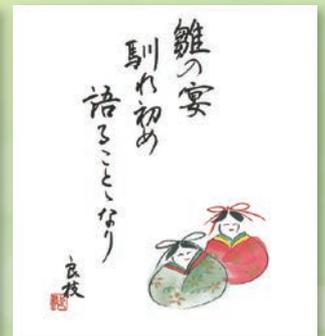
児玉 ゆき江様



神谷 明子様



神谷 美恵子様



竹中 良枝様





●安藤 謙様/写真撮影
「名古屋城ブロックアート」



●安藤 謙様/写真撮影
「富士山と新幹線ブロックアート」



●安藤 謙様/写真撮影「柴犬ブロックアート」



●安藤 謙様/写真撮影「壁画」

写真コーナー



●檜岡 純子様/提供「萬福寺」



●鈴木 康則様/提供「桜桃」



●安藤 謙様/提供「ブルーインパルス」



●檜岡 純子様/提供「西本願寺」



ご寄付の一覧 (2024年7月1日~12月31日)

伊井 孝子	河野 司	藤田 明子	神野 哲夫	魚津 源二
松田 玲子	加藤 一	杉山 みつ	鈴木 建吾	大伏 邦夫
杉本 和代	鈴木 征子	堀部 みさ江	成田 知美	田島 勝
丸山 文子	山下 秀三	橋谷 たえみ	千田 節子	佐々木 峰子
田島 勝	若月 幸	永井 太	渡邊 由利子	楯 精子
浅野 舜三	小野 千鶴	田島 勝	田島 勝	田島 勝
大河原 祥子	西川 善樹	越俣 寿子	飯塚 満智子	山下 秀三
川野 真菜美	岩田 美代子	西野 幸子	松本 充江	丸山 文子
鈴木 良枝	田島 勝	飯田 眞理子	水野 佳子	森島 光博
金沢 敬雄	森島 光博	江塚 稔	田中 実	高柳 五代子
牟田 美智代	牧野 進	加藤 庸子	池崎 良子	大石 早苗

(寄付受付日順)
〈敬称略〉

加藤 庸子先生

皆様のご支援
に深く感謝申
上げます。

役員紹介 (2024年12月31日)

会 長	金沢 敬雄	役 員	中川 早苗
副会長	安藤 謙		加藤 由喜弘
	永井 太		三浦 太
	城本 裕二		伊藤 英幸
	檜岡 純子		深井 泰子
役 員	丸山 文子		黒川 哲至
	吉川 賢二	相談役	神谷 哲夫
	山崎 桂子		大橋 庄洋
	飯田 眞理子	顧問	佐野 公俊
	田中 実		加藤 庸子
	宮崎 聖	事務局	佐藤 貴則



(左から後列) 神谷・檜岡・吉川・宮崎・加藤由・安藤・永井
(左から前列) 加藤先生・山崎・金沢会長・河野

お悔み

友の会役員で尽力いただいた病氣療養中の
千賀宏様が2024.11.16にお亡くなりになりました。
ご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

友の会副会長 安藤 謙

友の会の会報誌は前年度と同様に、2024年度も前半と後半の2回発行で、2024年度後半の会報誌(第63号)を発行しました。2024年を振り返りますと3月3日の第77回竹島日帰り親睦旅行、5月19日の第19回市民フォーラム、6月30日の市民公開講座(認知症学会との共催)、10月27日の第78回昼神日帰り親睦旅行と4つの行事を開催して多くの会員の皆様の参加を頂き厚く御礼申し上げます。今回の会報誌には10月の第78回昼神日帰り親睦旅行写真の一部を掲載、また友の会のホームページ新着情報にも一部の写真を掲載していますのでダウンロードも可能です。

昼神日帰り親睦旅行には、当会顧問の佐野先生と加藤先生、スタッフとして看護部皆さんの協力で車イス・杖の方にも気軽に参加頂き、勉強会のフレイル・認知症・癌についての講演では皆さんから身近な内容でためになったと多くの声を頂きました。

会報誌のおたよりコーナーには、会員の皆様からのおたより(行事参加の感想文、日常生活、旅行など内容自由)を掲載させていただきますので、ご協力をよろしくお願い致します。

2025年度のメイン行事は、2025年5月18日には第20回市民フォーラム、10月26日には第79回鳥羽日帰り親睦旅行を計画しており、多くの皆様の参加をお待ちしています。

会員の皆様、健康に留意してお健やかに過ごしてください。

加藤庸子国際基金



皆さまからのご寄付に心から感謝申し上げます。

ご支援寄付金受付先

お振込銀行



口座名

公益財団法人
加藤庸子国際基金
代表理事 加藤庸子

口座番号

記号:00800 2
番号:137324

お振込銀行



口座名

公益財団法人
加藤庸子国際基金
代表理事 加藤庸子

口座番号

八熊支店
普通:5001977

お振込銀行



口座名

公益財団法人
加藤庸子国際基金

口座番号

一宮支店
普通:0248961

各種クレジットカード
からもご寄付頂けます。

詳しくは、公益財団法人
加藤庸子国際基金のホームページの
「クレジットカードでのご寄付」
をご参照ください。
<https://yoko-kato.org>



ご挨拶

公益財団法人加藤庸子国際基金では、多くの皆さまから暖かいご寄付をいただいております。発展途上国からいらした留学生の支援に大切に使用させていただいております。改めて募金してくださった皆さまに心より感謝申し上げます。今後とも暖かいご支援何卒宜しくお願い申し上げます。

BANTANE EXPERIENCE

ばんたねでの経験

ケニアのKISII TEACHING AND REFERRAL HOSPITALから参りました、留学生のジェレミーオモロと申します。手術の見学やカンファレンスでの議論から多くの事を学んだ研修でした。加藤先生のように患者さまのために精一杯頑張ります。



毎日の血管吻合の練習の様子



友の会昼神日帰り旅行

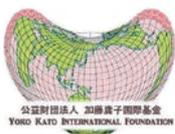
加藤庸子国際基金だよりvol.37より抜粋

「加藤先生が紹介されました」

季刊「BEST DOCTORS IN JAPAN」
第63号2024年1月



お身体のことでも気になることがありましたら、いつでもご相談ください。



公益財団法人 加藤庸子国際基金

代表理事 加藤庸子

TEL:090-3258-5646 E-mail:kyoko@fujita-hu.ac.jp



Instagram QR